

もったいない!を
未来へつなぐ

横浜らしさを 地球にやさしく

横浜市では、持続可能な循環型都市を目指し、資源を循環させる取組を市民・企業とともに一体となって進めています。

国際的な枠組み「アジア循環型都市宣言制度」をリードする都市として、地球にやさしい取組を世界に向けて発信していきます。

食品ロス削減につなげる



映画館のポップコーンが クラフトビールに

みなとみらい21地区の映画館で売れ残ったポップコーンを活用した、クラフトビールを製造しています。



もったいない食品が 動物たちのおやつに

市内ホテルで消費されなかったパンや果物が、よこはま動物園ズーラシアで動物たちの特別なおやつとなっています。動物たちがおやつを食べる姿から、食品ロス削減を身近に感じてもらう体験を広げています。



詳しくはこちら



▲朝食ブッフイメージ
(提供: ザ・カハラ・ホテル&
リゾート 横浜)



▲果物入りのおやつを食べるインドソウ、チンパンジー

CO₂削減につなげる



みんなの思い出が詰まった建物が未来につながる

学校の建替えや改修に伴って発生する大量の木材を、できる限り元の形を生かしたまま再利用し、市立学校の改修に活用したり、民間企業の店舗で使用されるベンチなどへと生まれ変わらせています。



詳しくはこちら

年間で
体育館10校分の
床材が発生



無印良品
ゆめが丘ソラトス

▲店舗の什器やアートパネルに活用



横浜市立
みたけ台小学校

▲通路の壁に活用



すてる油から未来の空へ

毎日の暮らしの中で使われる食用油を「捨てるもの」ではなく、新たな資源として回収することで航空機の燃料へと生まれ変わらせています。

回収場所を拡大中!



毎月約700~800ℓ集まっています



詳しくはこちら